



# 2013年3月期 第2四半期決算説明会



2012年11月

「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える

株式会社 **昭和真空**

証券コード: 6384 大証JASDAQ(スタンダード)



# I 第2四半期決算概況

---



# 第2四半期経営成績の概況 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



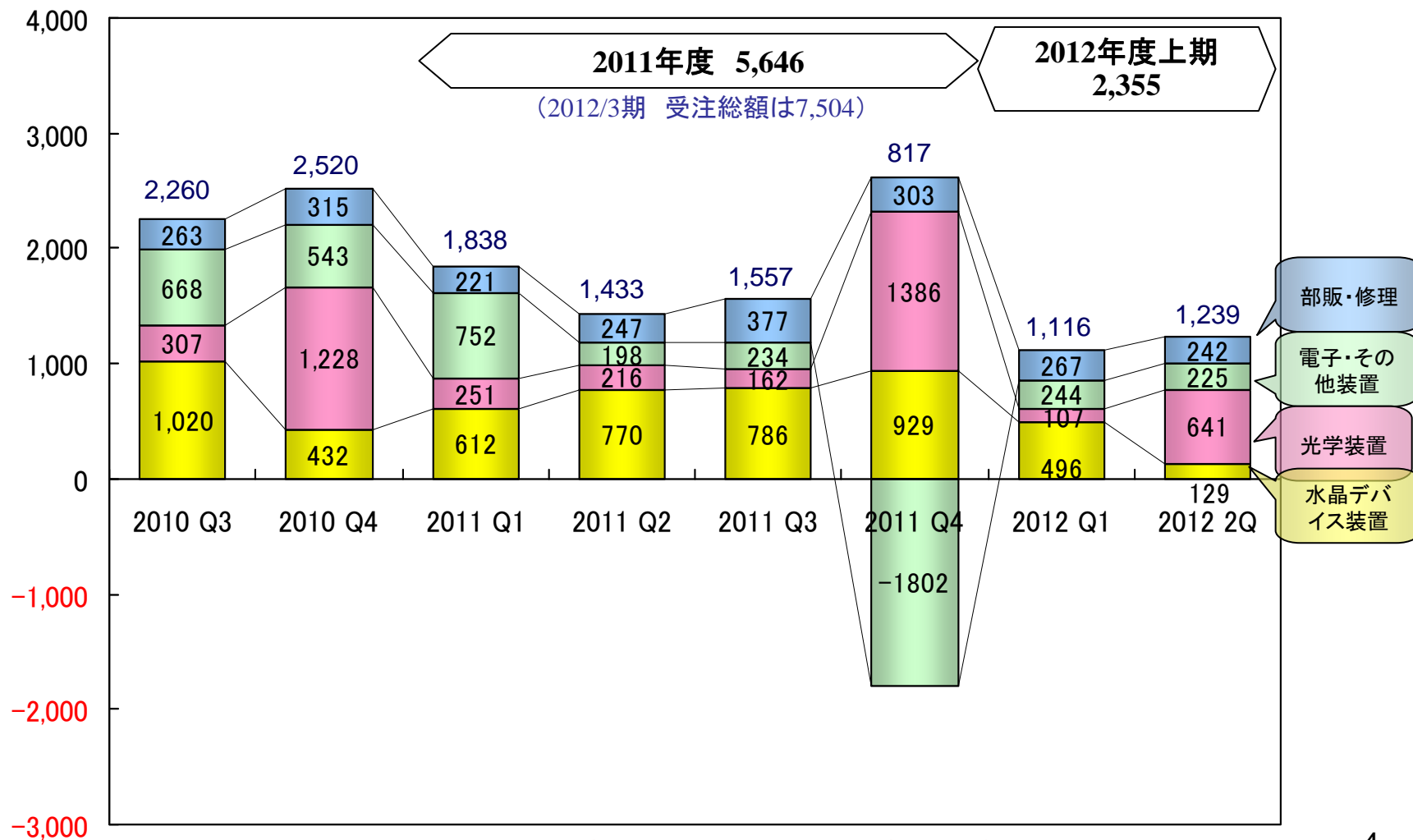
(百万円)	2011年度		2012年度			
	2 Q 実績		2 Q 実績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	3,272	—	2,355	—	▲916	▲28.0%
売上高	3,380	100.0%	3,643	100.0%	263	7.8%
売上総利益	672	19.9%	667	18.3%	▲4	▲0.7%
販管費	683	20.2%	628	17.3%	▲55	▲8.0%
営業利益	▲11	▲0.4%	38	1.1%	—	—
経常利益	▲42	▲1.3%	25	0.7%	—	—
当期純利益	▲22	▲0.7%	30	0.8%	—	—

# 受注高品目別推移 (四半期、連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)



2011Q4に太陽光発電関連の受注額を電子・その他装置より控除しております。

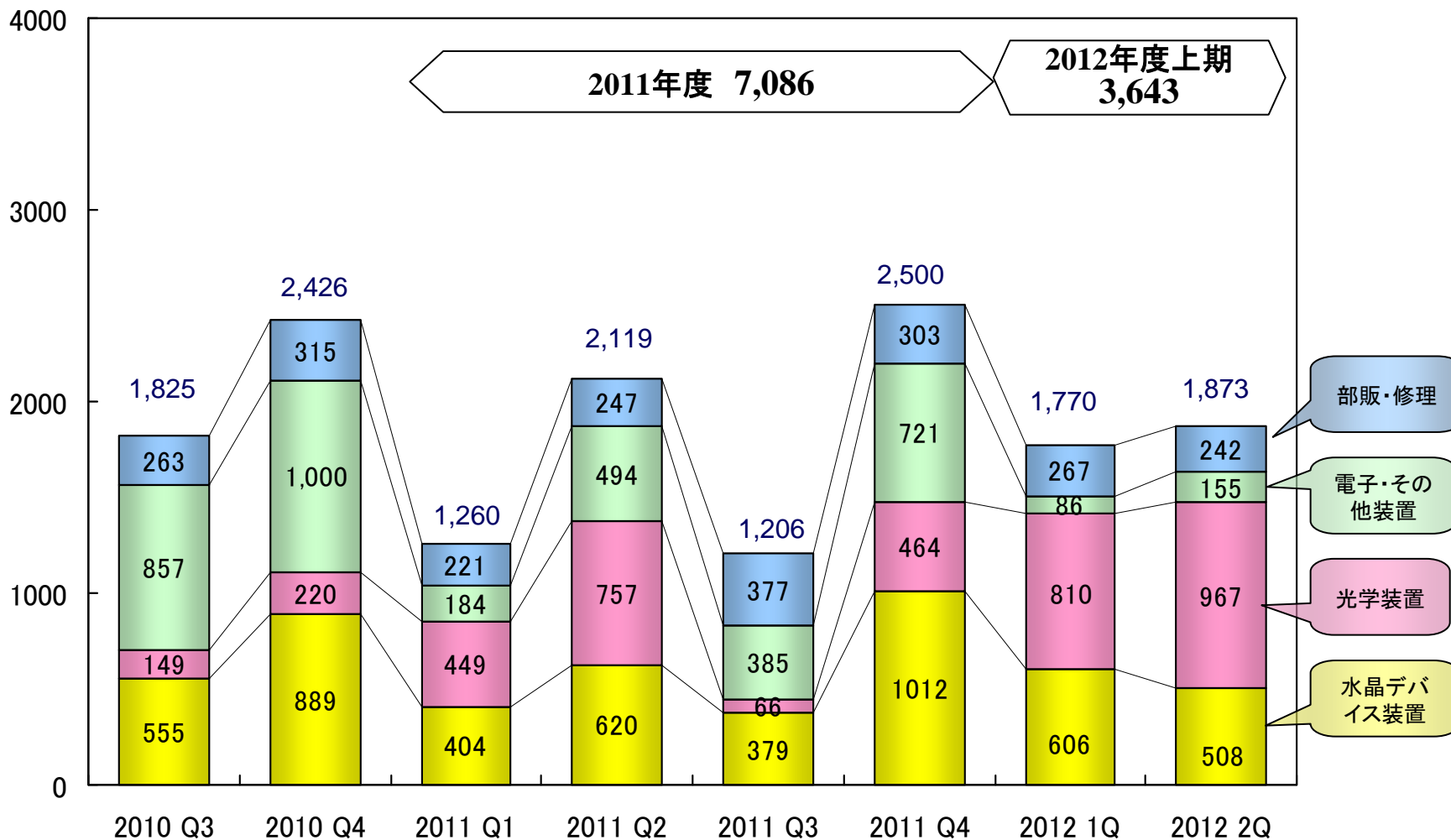
# 売上高品目別推移

(四半期、連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)

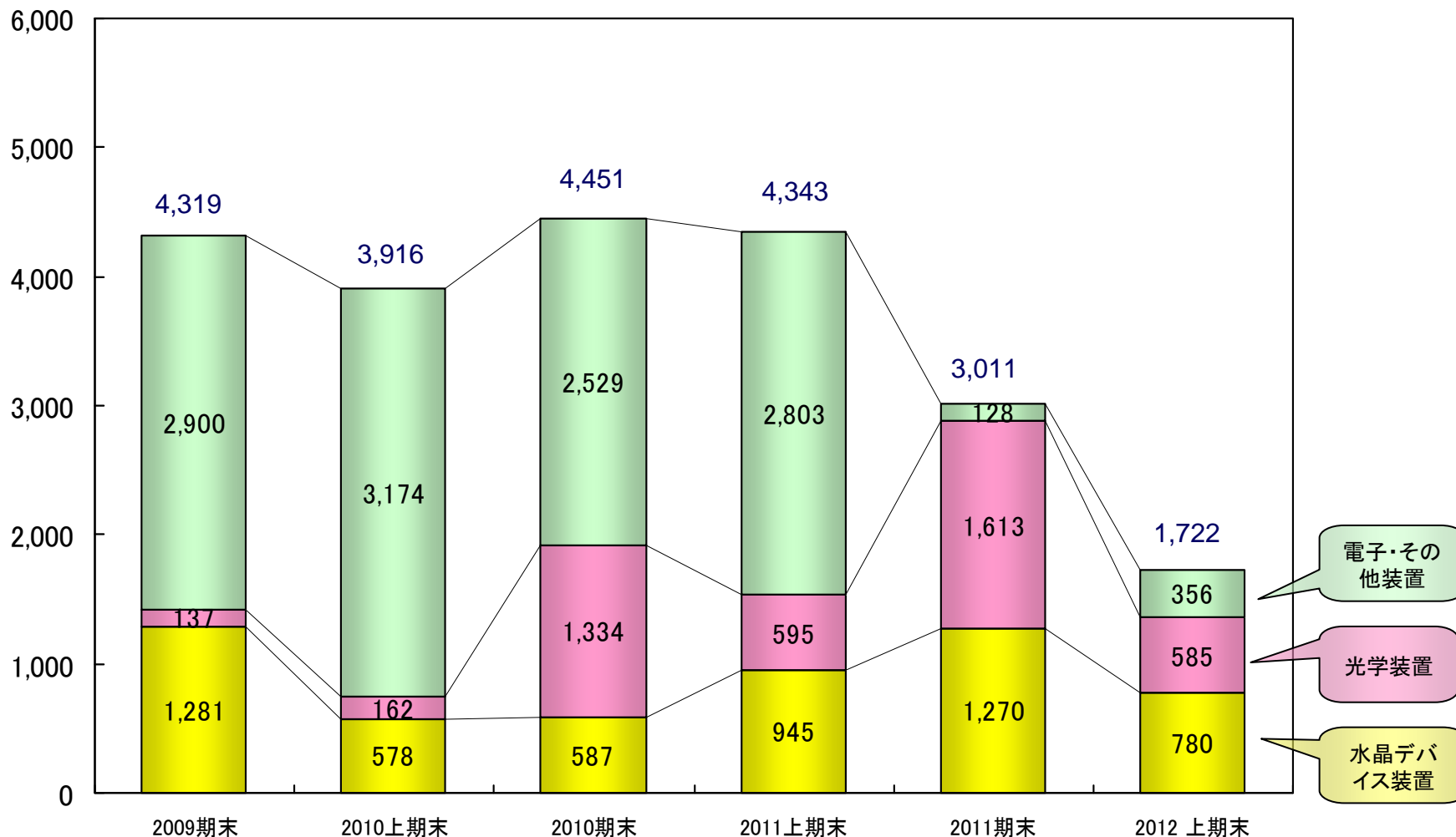


# 受注残品目別推移 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位: 百万円)



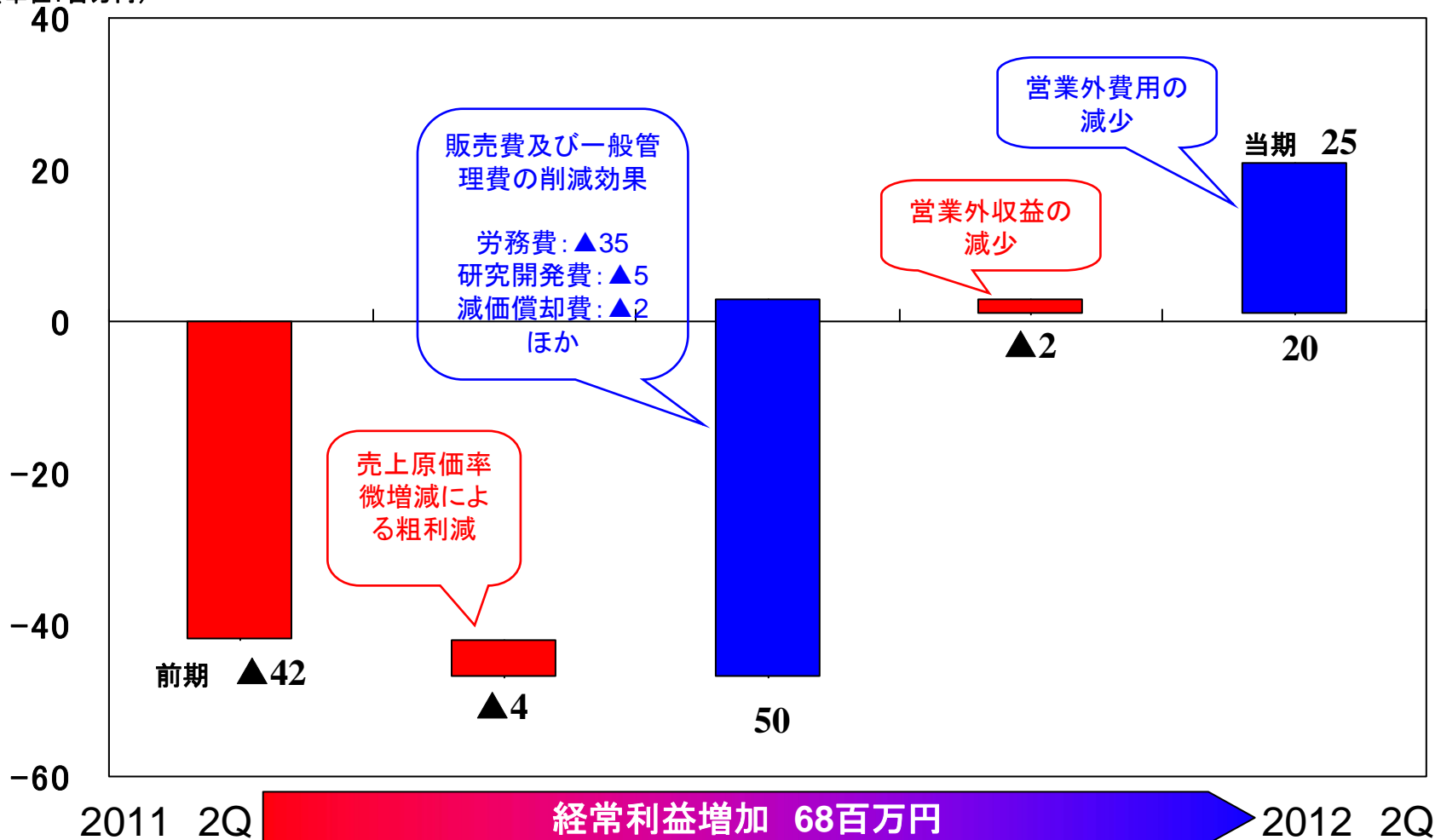
2011年度期末に太陽光発電関連の受注額を電子・その他装置より控除しております。

# 経常利益の増減要因分析

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』

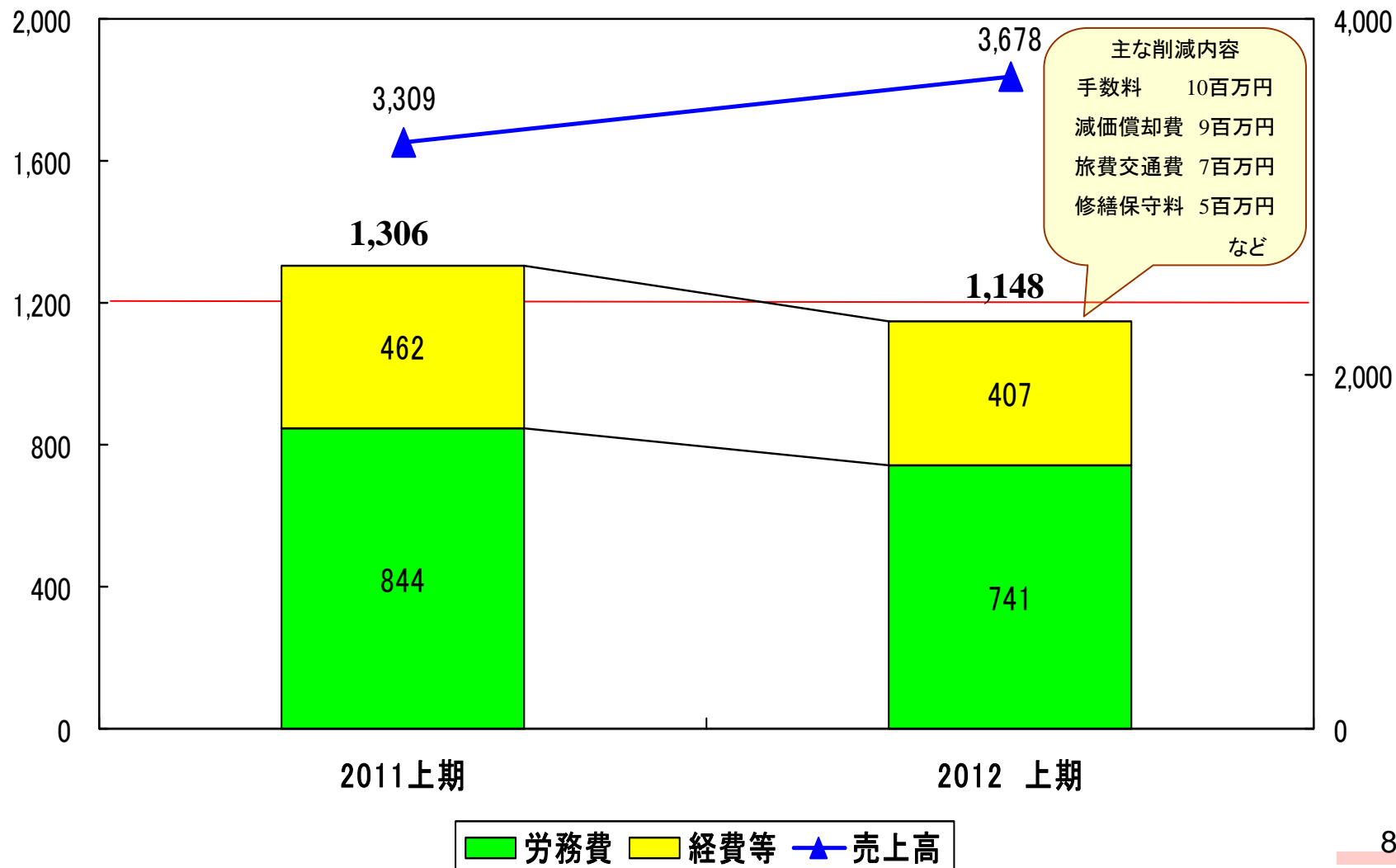


(単位: 百万円)



# 固定費及び売上の推移 (単体)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』





# 貸借対照表 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)

	2011期末	2012 2Q末	増減額	主な増減要因
資産合計	9,629	9,689	60	
流動資産	6,374	6,514	140	受取手形及び売掛金 ▲157 現金及び預金 97 たな卸資産 111
固定資産	3,255	3,175	▲79	有形固定資産減価償却等 ▲55
負債合計	4,174	4,235	60	
流動負債	2,545	2,653	107	1年以内返済予定長期借入金 ▲241 支払手形及び買掛金 279 工事損失引当金 82
固定負債	1,629	1,581	▲47	長期未払金 ▲26
純資産合計	5,454	5,454	▲0	

借入依存度 11.6%

自己資本比率 56.3%

固定比率 58.2%

# キャッシュ・フロー計算書 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)

	2011 2Q	2012 2Q	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	296	385	税金等調整前四半期純利益 25 売上債権の減少 160 仕入債務の増加 278 たな卸資産の増加 ▲110
投資活動によるキャッシュフロー	▲5	▲2	
財務活動によるキャッシュフロー	▲220	▲288	長期借入金の返済による支出 ▲241 配当金の支払額 ▲30
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2	
現金及び現金同等物の増減額	72	96	
現金及び現金同等物の期首残高	971	1,241	
現金及び現金同等物の期末残高	1,044	1,337	

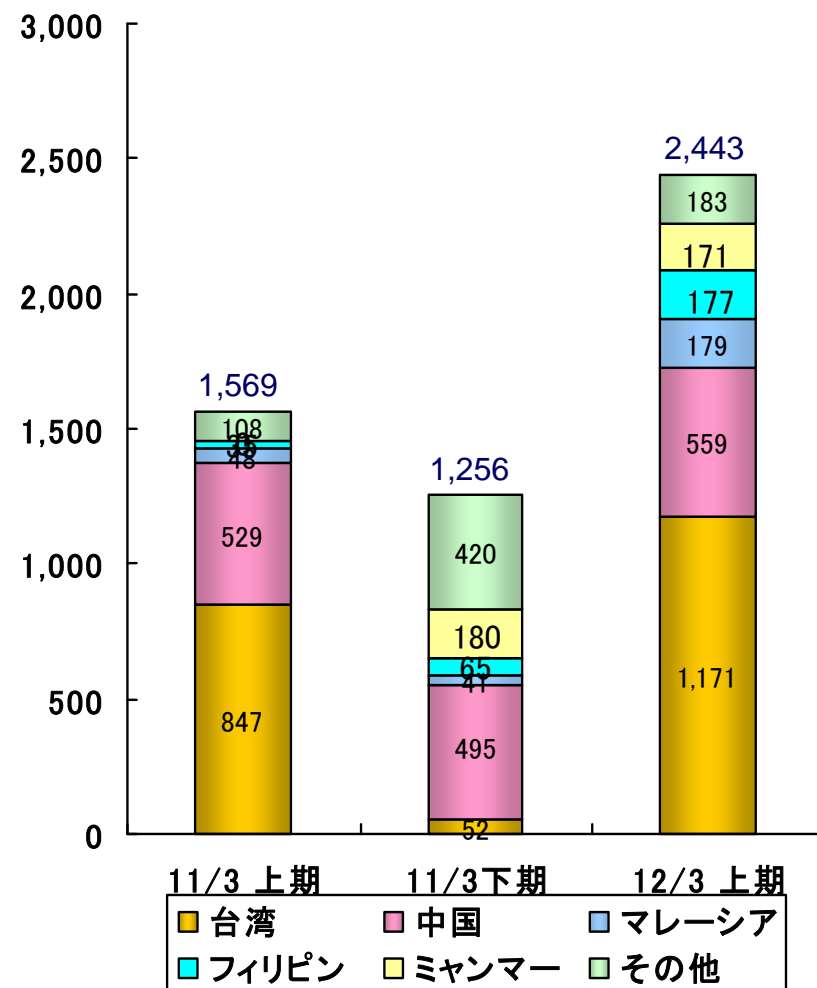
# 輸出先国別売上高推移 (単体)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)

	2011 上期	2011 下期	2012 上期
台湾	847	52	1,171
中国	529	495	559
マレーシア	48	41	179
フィリピン	35	65	177
ミャンマー	0	180	171
その他	108	420	183
合計	1,569	1,256	2,443
輸出割合	47.4%	35.1%	66.4%



1 受注減により生産・売上低迷

2 コストダウン、固定費削減努力により  
ようやく黒字化

3 海外を中心に積極的な営業活動するも  
受注は苦戦し、受注残減少

4 中国における反日運動等による  
直接的な損害無し



## Ⅱ 業績の見通し及び今後の展望

---



# 2012年度 下期外部環境

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



- 1 世界経済は引き続き先行き不透明
- 2 改善されつつも超円高はつづく
- 3 スマートフォン・タブレットPCは成長
- 4 電子部品は日本製
- 5 日本のユーザーの設備投資は皆無

# 2012年度 通期業績予想 (連結)

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



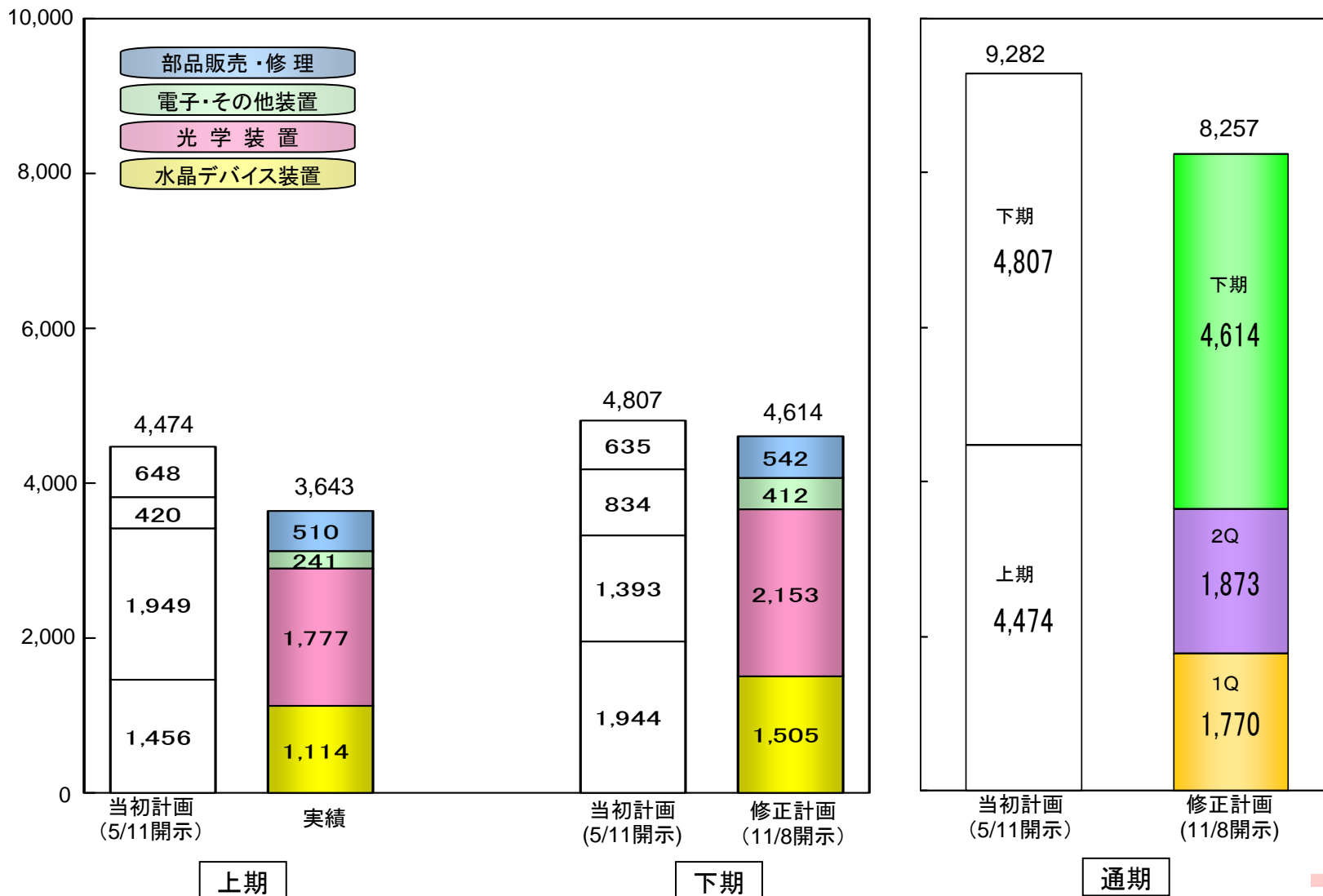
(百万円)	2012年度			当初 計画 (5/11開示)	前年 実績
	上期 実績	下期 計画	通期 予想 (11/8開示)		
売上高	3,643	4,614	<b>8,257</b>	9,282	7,086
営業利益	38	54	<b>92</b>	173	▲355
経常利益	25	56	<b>81</b>	184	▲389
当期純利益	30	61	<b>91</b>	166	▲1,539

# 上期実績と通期予想（売上）

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』



(単位:百万円)



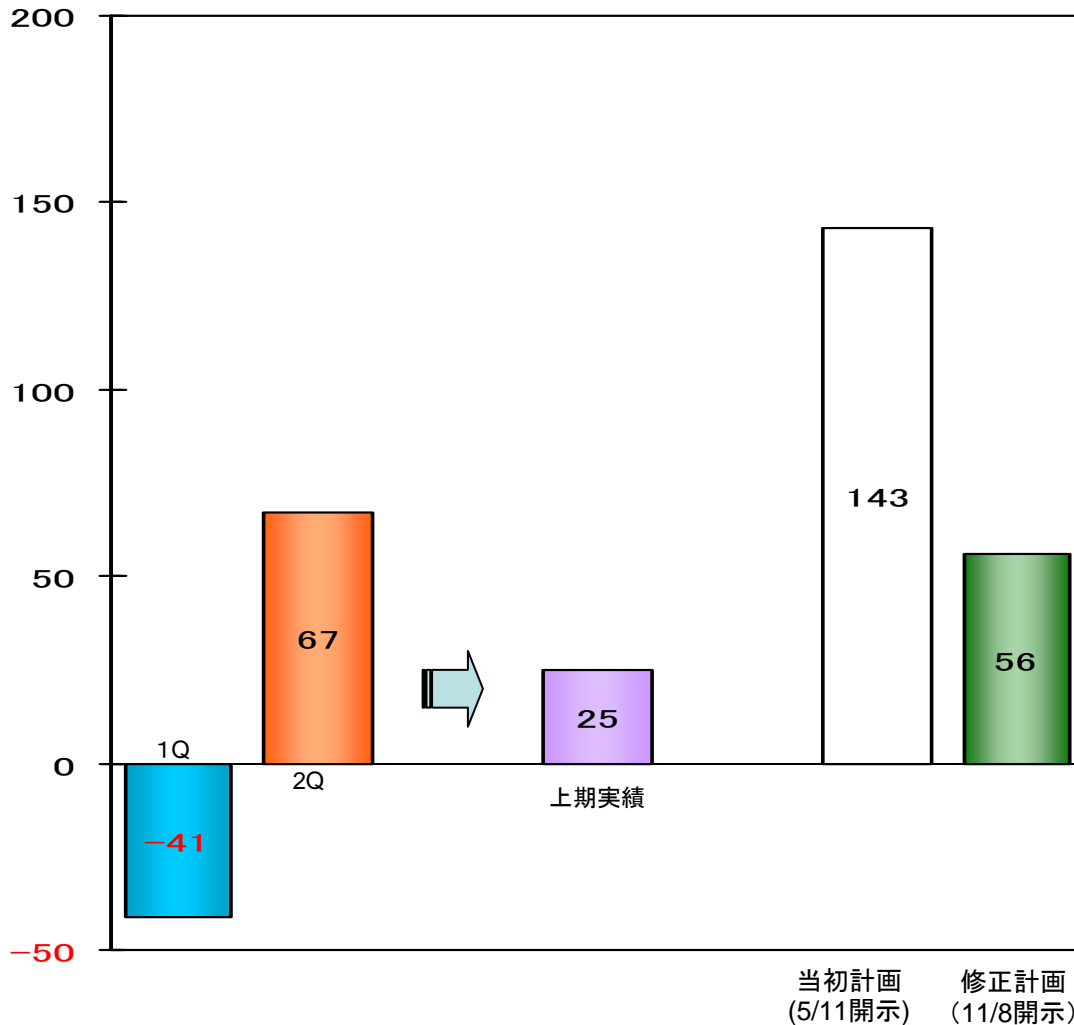


# 上期実績と通期予想（経常利益）

『技術革新』  
『グローバル化』  
『スリム化』

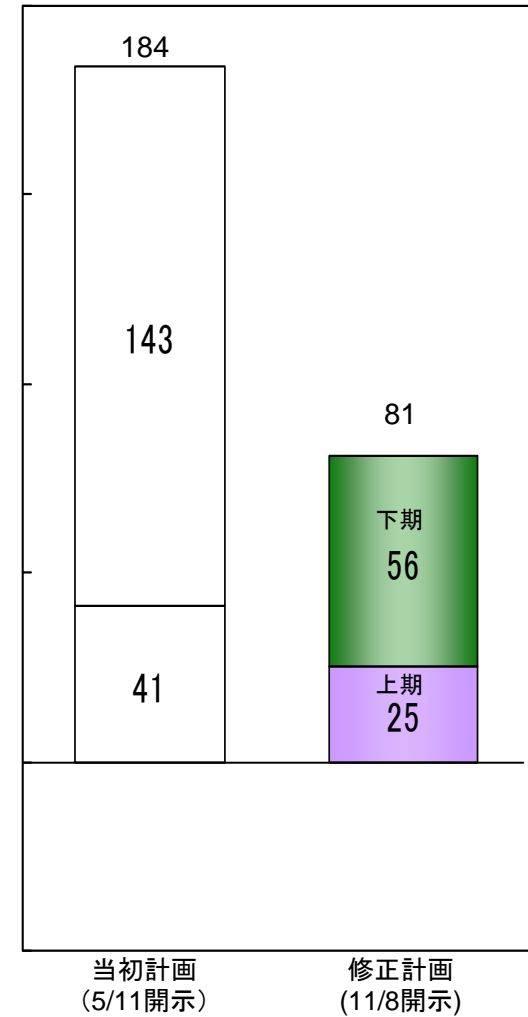


(単位:百万円)



上期

下期



通期

- 1 海外の光学部品メーカーへの積極的な受注活動
- 2 市場ニーズに対応した新型装置の投入による受注拡大
- 3 上海子会社への営業・生産移転の加速
- 4 徹底したコストダウン  
固定費削減努力の継続

## 《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。

本日はありがとうございました

---



株式会社 昭和真空  
SHOWA SHINKU CO., LTD.